

質問票：海外におけるコロナ探知犬の活用状況について

問1 別紙1のとおり論文を発表した研究者の国々で、新型コロナ等の検査における探知犬の活用の有無（制度化や社会実装が行われているか否か）について

該当なし

問2 また、実施している場合は、検査の実施及び制度の継続状況について。

- ・新型コロナ等の検査について、国が正式な検査結果として用いられるように制度化し、スクリーニング検査などとして継続して探知犬が活用されているか。

該当なし

- ・正式な検査結果としては用いられないが、その結果を元にPCR検査などの精密検査を実施するように探知犬が活用されているか。

該当なし

参考情報

2023年3月2日、オー＝ド＝フランス州ラーモルレイ（オワーズ）の老人ホームにおいて、特別に訓練された探知犬による入居者を対象とした新型コロナウイルス感染症検査が実施された。これらの探知犬は、ウイルスの特徴的な匂いを嗅ぎ分けるように訓練されており、無症状者も含め感染した入居者を特定することができる。この方法により、迅速かつ身体に負担の少ないスクリーニングを実行することが可能になり、ウイルスの蔓延を制限し、特に病気に対して脆弱である高齢者を保護するのに役立つ。

すでに約30匹の探知犬がフランスで訓練されているとのこと。

<https://leshopitauxdefrance.fr/2023/03/26/detection-du-covid-19-dans-un-ehpad-de-loise-des-chiens-renifleurs-au-service-des-personnes-agees/>

2022年6月1日、『訓練された探知犬は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）をPCR検査と同様の精度で検出することができる』とアメリカの科学誌に掲載された。

この研究はAP-HP（Assistance Publique - Hôpitaux de Paris）とアルフォール国立獣医学部（ヴァル・ド・マルヌ）の研究者によって、2021年3月16日から2021年4月9日の期間、パリで実施された。探知犬が検査対象者335人の脇の下の匂いを嗅いだところ、97%のケースで新型コロナウイルスを検出した。

抗原検査やRT-PCRとは異なり、探知犬による検査は数秒で済む、身体的負担が低い、結果が出るまでの時間が短い、実装コストが限定的であるという利点がある。

<https://www.ouest-france.fr/sante/virus/coronavirus/covid-19-le-flair-des-chiens-serait-aussi-efficace-qu-un-test-pcr-7797917>

※上記2件はいずれも、フランス国内で新型コロナウイルスが流行していた時点の報道である。